

「第 35 回 港南区の歴史散歩」

1. 日時、コース

(1) 日時 : 平成 16 年 11 月 6 日 9:00~12:00

(2) コース : 上大岡鹿島神社・馬飼ヶ谷～笹下武者ヶ谷 (森が丘～笹下)

京急上大岡駅 ⇒ 野本養魚場 (上大岡東 2-3) ⇒ 鹿島神社 (上大岡西 3-12)
⇒ 馬飼ヶ谷 (上大岡東 2～磯子区森が丘 1～2 丁目) ⇒ 長畑・鹿島脇 (森が丘
1～2 丁目) ⇒ おどり畑 (森が丘 2-10 付近) ⇒ 百八塚 (森が丘 1～2 丁目)
⇒ 笹下台団地 (笹下 1-8 付近) ⇒ 金子邸内の石仏 (笹下 1-4) ⇒ 武者ヶ谷
(笹下 1 丁目付近) ⇒ 旧家金子家 (笹下 1-3) ⇒ バス停 関



注 1 : 囲み数字 (例=③) はスナップ写真に記載されている番号を示す。

2. 当日のスナップ

新編武蔵風土記稿によると、上大岡東 1-14 付近に安楽院（古儀真言宗）があつたと記されています。「村の中程にあり境内三反三畝十歩、本堂四間六間、本尊大日如来、如意輪観音 岐阜山」 明治新政府の神仏政策の際、安楽院観音堂は真光寺に遷移されました。

京浜急行の上大岡トンネル(第七トンネル)の北口の谷の近くを馬飼ヶ谷と言います。この一帯の原野は昔牧場があつたのでしょうか、南武蔵には各所に牧場がありました。本牧・石川牧・立野などの名があります。或いは笹下城に関する馬の牧場とも考えられます。また上大岡東 2-47 には「馬飼ヶ谷貝塚」がありました。「ハイガイ・サルボウ・アカニシ・ムラサキガイや長さ 10cm 位のちくわ型の土錘が 40 個など出土しています。

笹下一丁目付近は武者ヶ谷^{むしゅがいと}と呼ばれていました。金沢道が沿った丘陵地帯に当時の武者の屋敷が軒を連ねていたので此処を武者ヶ谷と言うということです。

(1) 安楽院跡（上大岡東 1-14）

安楽院については#34 回散策資料参照方
現在は左手ブロック塀に囲まれた中に墓地がある

(2) 野本養魚場

昭和 6 年東京深川より移転、当時
ここは一面の水田地帯だった。



(3) 鹿島神社（祭神＝建御雷命、創立年代不詳）

ア、石鳥居

イ、社殿

ウ、堅牢地神塔

左に回国供養塔あり

入母屋造

手に鉾と花器を持っている



(4) 森が丘 2-15
一の辻、旧小名は
長畑・鹿島脇



(5) 森が丘 2-9 付近より汐見台方面を見る
左手、京急線路脇辺りが馬飼ヶ谷
昔、笹下城に関する馬の牧場だったか？



(6) 森が丘 2-10
おどり畑は
この辺りか？



(7) 笹下団地
建物の造りは古いが
敷地にゆとりがある



(8) 斉木畜産の養豚場跡
笹下団地の階段を下りた
前方車があるところ



(9) 金子家邸内の石仏
庚申塔と馬頭観音塔
文政 13 年 (1830 年)



(10) 武者ヶ谷と金子家
南側の竹林の中に一族の墓がある。
永禄から現代まで 4 百年続いている。

